

運河古城 渤海の珠玉 — 滄州市

滄州の位置：

滄州市は河北省東南部にあり、渤海を東に臨み、北は北京・天津、南は山東省に隣接しています。

首都北京からは200 km、天津から100 km、河北省都の石家荘からは220 kmの位置です。

総面積は1.4万km²、総人口727万人、そのうち、滄州市街区の面積は227km²で、人口は約50万人です。



滄州の歴史：

滄州の地名は渤海湾つまり“滄海（大海原）”に由来します。

その歴史は古く、紀元517年滄州が設置されて以来、1490年の歴史のある町です。

1000年以上前に造られた巨大な鉄のライオン像（滄州鉄獅子）はその古い文明を象徴し、滄州は“獅城”とも呼ばれています。



武術、雑技と素朴な気質：

滄州は古代より武術と雑技が盛んな地域として有名で、中国全土に名を轟かせた多くの武術家と優れた雑技人材を輩出し、「武術の郷」と「雑技の郷」と呼ばれています。

その伝統と気風は現在でも脈々と受け継がれ、勤勉で素朴な気質を持っています。



主な産業：

石油化工、装備製造、電力エネルギー、現代化流通などが主な産業です。



食糧と綿花の生産地で、農産物はナツメと梨が有名です。



(ナツメ)



(梨)

渤海沿岸地方の成長の極となる総合港湾

北京—杭州の大運河が南北に貫き、昔から港町として繁栄しました。現在、北京から延びる鉄道幹線と高速道路網により交通の要衝になり、多様な貨物を取り扱う現代型の総合港湾を目指して建設が進んでいます。



写真提供者 胡栄徳 苑立偉 ， 特別感謝 滄州市人民政府新聞弁公室
作成：2014年 国際交流員 張 金霞